

答 申 書

(案)

～留辺薬自治区内事業の今後のあり方について～

平成29年10月
留辺薬まちづくり協議会

平成29年10月10日

北見市長 辻 直 孝 様

留辺蘂まちづくり協議会
会長 横 田 正 純

留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成29年7月20日付けで諮問のありました自治区内事業の今後のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。

【答申にあたって】

～留辺蘂自治区の現状～

現在の留辺蘂自治区については、全国的な課題となっている人口減少及び、高齢化率の上昇が著しく、北見市内においても他の自治区と比較した場合、その状況は顕著です。

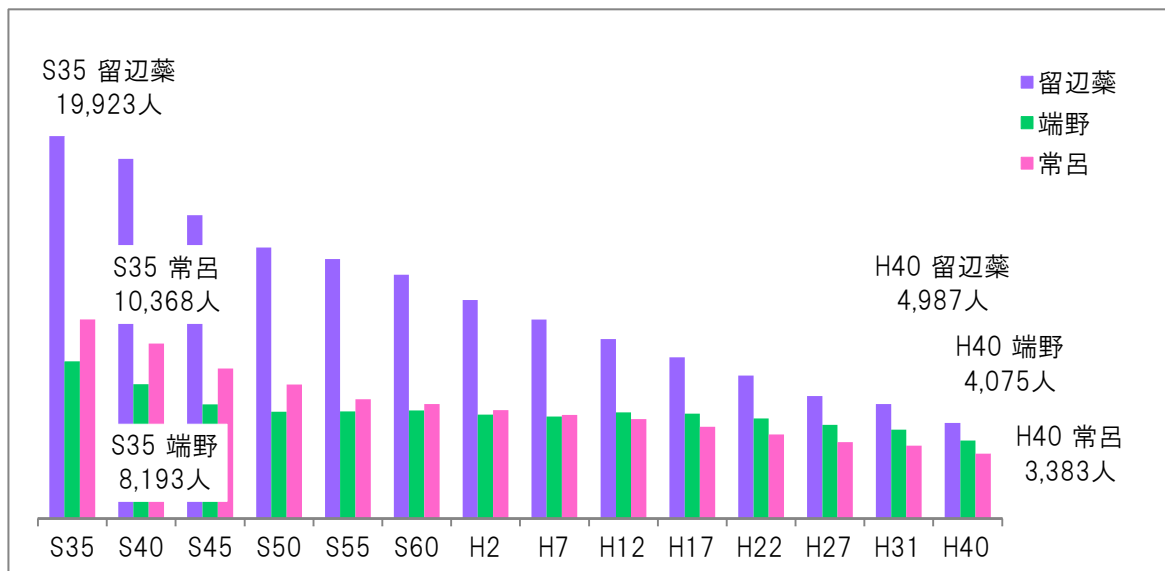
人口の減少の要因としては、転居・転出（社会減）による人口流出に歯止めがかからず、また、出生率の低下、死亡者の増加等、自然減の要因も大きく、平成18年の合併時には、8,509人でしたが、平成28年では、6,361人となり、10年間で2,148人の減少となっております。

社会減のうち、若年層の流出も大きな課題であり、高校、大学等卒業後、留辺蘂自治区に戻り、就職したくても就職する環境が乏しいことが、流出及びIJUターンがしづらい状況にあります。

また、留辺蘂自治区の高齢化率は、合併直後の平成18年3月31日現在では、32.97%（北見市全体では21.84%）、平成29年8月31日現在では、47.82%（北見市全体では31.59%）となっており、北見市内においても突出した状況となっております。

このような状況もあり、地域住民の多くは将来に対し大きな不安を抱いており、この不安を少しでも解消し、ハード事業だけではなく、ソフト事業の充実を図り、安心して暮らせる環境整備が求められています。

<留辺蘂自治区の人口推移（端野・常呂自治区との比較）>



※H27までは国勢調査の数値（H31・H40は推計）

このような現状の中、平成29年7月20日に北見市長から第10次実施計画策定に向けて、「留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受けました。このことに伴い、課題解決に向け、新規事業はもちろん、今後の留辺蘂自治区の方向性などについて議論を重ねてきたところです。

○取り組むべき地域課題

- ・総合的な福祉事業対策の充実
- ・人口減少対策と若年人口の増加及び雇用対策の充実
- ・教育施策の充実
- ・子育て支援対策の充実
- ・将来を見据えた公共施設のあり方の検討
- ・空き家、空き店舗、空き地対策
- ・地域交通の確保対策
- ・災害対応の地域連携と防災対策の充実
- ・第 次産業の育成と新たな製品の創出
- ・観光事業対策の充実

いずれも大変重要な課題であり、優先順位を付け難いものばかりではありますが、このことに伴う新規要望事業等（75事業）について、必要性及び有効性等を検証し、集約したところです。

これらのことを踏まえ、留辺蘂自治区として今後新たに必要とする事業等を明確に位置づけ、北見市総合計画の基本目標に沿って、その内容や必要性について答申いたします。

基本目標 1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

【最優先事業】

○広域連携P I F 最終処分場運営事業

P F I の手法により建設された、留辺蘂自治区及び置戸町・訓子府町の埋立ごみの受入れ施設である最終処分場については、平成 16 年度に供用を開始し 15 年間の運営期間が平成 31 年 3 月 31 日で終了となります。現在の埋立量から運営期間終了時には施設計画埋立量の 4 割程度となることから、特定事業契約に基づいて運営期間を延長することを強く要望します。

○イトムカ橋護岸改修事業

無加川を横断する国道 39 号に架かるイトムカ橋の護岸は、平成 28 年 8 月の台風災害により被災を受け北海道開発局で復旧の計画はあるものの、橋梁護岸の範囲から外れる部分については、北見市の管理となります。このため、開発局と連携し、イトムカ橋護岸を復旧することは、交通の大動脈である国道 39 号を安全に通行するためには重要であることから、事業実施を強く要望します。

基本目標 2. 豊かな心と文化を てるまちづくり

【最優先事業】

○瑞穂小中学校遊具等撤去工事業

瑞穂小中学校については、平成 30 年 3 月を以って閉校となりますが、安全管理上、不用意な侵入者等の事故を防止するために、速やかな撤去が必要であることから、事業の実施を強く要望します。

○瑞穂小中学校教員住宅解体整備事業

瑞穂小中学校については、平成 30 年 3 月を以って閉校となりますが、利用及び利活用の予定もなく、老朽化も進んでいることから、地域の環境や安全性確保のために必要な事業であるため、事業の実施を強く要望します。

○瑞穂小中学校校舎体育館解体整備事業

瑞穂小中学校については、平成 30 年 3 月を以って閉校となりますが、利用及び利活用の予定がなく、老朽化が進んでいることから、地域の環境や安全性確保のために必要な事業であるため、事業の実施を強く要望します。

○留辺蘂町公民館耐震診断・現況調査事業

昭和 52 年建設の留辺蘂町公民館は、耐震診断が必要な施設であり、耐震改修促進法の改正により、不適格建造物の扱いとなっています。災害避難所にも指定され、公民館の安全確保を優先する必要があります。また、外壁面、屋上などの老朽化も進んでおり、早急な事業の実施を強く要望します。

○留辺薬町開拓資料館整備事業

留辺薬町開拓資料館は、大正9年に現在地において武華駅通として開設し、開拓の重要な役割を担った後、今日まで地域の歴史を伝えてきた貴重な建造物ですが、老朽化が進んでおり、大規模な補修や改修が必要な状況にあります。

今後もこの建物を駅通として保存し、地域の歴史と文化の継承を図るため、建物の修復・保存に向けた整備事業の実施を強く要望します。

○留辺薬町体 館耐震診断・現況調査事業

昭和55年に開館した留辺薬町体育館は、旧耐震基準での建築物であるが、災害時の避難所となっています。新耐震基準（昭和56年改正）に当てはまるかわからない状態であり、今後の施設整備に向けた方針を検討していくためにも、北見市耐震改修促進計画に基づく耐震診断並びに施設の現況調査の実施を強く要望します。

○旭公園多目的グラウンド整備事業

旭公園多目的グラウンド（旧陸上競技場）のフィールド部分については、現在陸上競技場としての利用が少ないことから、様々なスポーツに対応可能な全面芝生化とすることで、市内のスポーツ少年団や社会人のスポーツチームがウォーミングアップや練習試合等、多目的に利用できるようにすべきと考えます。また、例年7～8月は道外からの社会人ラグビーチームが合宿に利用しており、同時期には市内のサッカーチームやソフトボールチームなどの利用も重なることから、施設整備に対する要望を数多くいただいております。事業実施を強く要望します。

○留辺薬町体 館熱源整備事業

昭和55年に開館した留辺薬町体育館は、使用しているボイラーの煙突にアスベストの含有があり、老朽化も著しい。現在、アスベスト対応として年4回の定期点検・気中濃度測定を行っていますが、状況が悪化しボイラーが使用不可になった場合、施設の使用が出来なくなるため、煙突を使用しない熱源へ早急な改修が必要であることから、事業の実施を強く要望します。

○移動図書館車更新事業

現在の移動図書館車は、平成7年12月に導入しました。走行距離は規定に達していませんが、常に5t以上の荷重がかかっていることもあり、スプリングの消耗も進んでいます。今後も運行を継続していくためには、移動図書館車の更新が妥当であり、事業の実施を強く要望します。

基本目標 3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

【最優先事業】

○北見市はあとふるプラザ改修事業

地域コミュニティの活動拠点として活用されてきたはあとふるプラザは、経年劣化による老朽化が進んでいます。高齢者・ボランティア団体の活動を促進させるため福祉的活動拠点として、高齢化率の高い留辺蘂自治区では今後当施設へのニーズが高まることが予想されます。また、JR留辺蘂駅とともに留辺蘂自治区の公共交通の拠点でもあるため、早急に事業の実施を強く要望します。

○養護老人ホーム静楽園施設整備

平成 14 年に移転改築を行った養護老人ホーム静楽園において、施設設備が改築後の経過年数により経年劣化及び機器の損耗等が著しく、設備の更新を行い、安全・安心な施設の充実を図る観点から、事業の実施を強く要望します。

基本目標 4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

【最優先事業】

○農業振興施設整備事業（花公園根々の丘花壇整備）

「おんねゆ温泉花公園根々の丘」は、おんねゆ温泉街再生整備計画事業の一つとして、宿根草等の植栽や土壌改良を行い整備を進めていますが、花壇の一部において宿根草が根付かず十分な花壇とは言えないため、花苗の補植を行い整備を図る必要があることから、事業の実施を強く要望します。

○花園牧場捕獲施設整備事業

給餌施設の充実を図るため、捕獲及び家畜防疫管理施設として整備すると同時に、個体の管理を容易に行うことも作業効率上必要となります。また、預託牛に占める振興授精牛の割合増加を受け、既存牧区の整備により施設の機能向上及び利用促進を図ることと、地域の要望に応えるためにも事業の実施を強く要望します。

○明渠排水路維持補修事業

土地改良事業で造成された排水施設において、施設の長寿命化や排水不良への改善を図るため、事業の実施を強く要望します。

○道の駅おんねゆ温泉整備事業

道の駅の敷地内にある果夢林の館の暖房用温水機が耐用年数を経過し、能力の低下がみられるほか、付属品の寿命を迎えており、冬期間は欠かせないものであるため、早期の事業着手が必要です。また、敷地内に咲き誇る花菖蒲も年々咲きが悪くなってきていることから、株分け及び土入れが必要となっているほか、通路の数箇所にひび割れや陥没が生じており、観光客が怪我をする恐れがあるとともに、落雷により枯れた木を伐採し景観形成を図ります。安心、快適に過ごせる観光施設に整備することで、道の駅全体の活性化、集客を図るため、事業実施を強く要望します。

○山の水族館集客対策事業

山の水族館において、リニューアル後から実施している「いただきますライブ」は、生きたニジマスをイトウの大水槽に放ち、 気にニジマスを食べてしまう迫力ではなく、「大切な命をいただいている」を感じていただきたくため、実施していません。この「いただきます」の気持ちと感謝をこめて開催した5周年記念事業「いただきますフェスタ」を今後においても継続し、いただきますに関連した事業について、水族館イベントとして「いただきますフェスタ」を定着化させることで、イベント及び水族館の知名度を向上させ、今後の集客につなげるため、事業の実施を強く要望します。

基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

【最優先事業】

○市営住宅建替事業（公園団地）

公園団地は、昭和43年～51年、昭和56年～58年にかけて建設されており、建替対象となる公園団地は、昭和44年、昭和46年～51年に建設されたもので、耐用年限を経過しています。当団地は老朽化が著しく、今日の市営住宅と比較すると質の向上が望まれるため建替を行い、住宅に困窮する低所得者に対し、低廉な家賃で住宅を賃貸するため、事業の実施を強く要望します

○留辺蘂町あさひ保 所2号通り外2路線道路整備事業

住宅地の区画道路で、本路線の周辺道路は整備済みであること、また近年の大雨のたびに冠水することから、地域住民から改善が求められています。改良舗装を行うことで、交通と住環境の調和する基礎的な生活環境の整備を図る必要があることから、事業の実施を強く要望します。

○留辺蘂町留辺蘂訓子府線道路整備事業

本路線は道道・留辺蘂浜佐呂間線と交差しており、この交差点には積ブロックが施行されています。近年、老朽化により積ブロックが著しく風化している状況となっています。このため、この積ブロックを改修し、道路利用者の安全を図るとともに、国道39号から下水道管理センターまでが未改良であるため、整備することにより、交通の円滑化が図られることから、事業の実施を強く要望します。

○留辺薬町旭西 1 号通り外 2 路線整備事業

住宅地の区画道路で、本路線の周辺道路は整備済みであることから、地域住民からの改善が求められています。改良舗装を行う事で交通と住環境の調和する基礎的な生活環境の整備を図る必要があることから、事業の実施を強く要望します。

○留辺薬町旭西 4 号通り道路整備事業

住宅地の区画道路で、本路線の周辺道路は整備済みであることから、地域住民からの改善が求められています。改良舗装を行う事で交通と住環境の調和する基礎的な生活環境の整備を図る必要があることから、事業の実施を強く要望します。

基本目標 6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

【最優先事業】

○住民センター整備事業（瑞穂改善センター整備）

瑞穂地区農村環境改善センターは、昭和 63 年建設され 29 年が経過しており、随所に老朽化が目立ち、改修が必要なことと、瑞穂小中学校が平成 30 年 3 月をもって閉校となり、地域住民が小中学校の体育館が利用できなくなるため、改善センターの多目的ホールを小体育室として利用するため、イス・テーブル等を収納するスペースを確保するため、改築工事を実施する必要があることから、事業の実施を強く要望します。

○留辺薬総合支所庁舎改修事業

留辺薬総合支所庁舎は、昭和 41 年の建築であり、建物・設備ともに老朽化が進んでいます。また、自治区の防災拠点施設であることから、耐震改修促進法及び北見市耐震改修促進計画に基づく耐震診断を実施するとともに、計画的に必要な施設整備を進め地域住民の安全を確保するため、事業の実施を強く要望します。

【むすび】

～中長期的な視点にたった留辺蘂自治区のあり方～

留辺蘂自治区は、毎年、約200人ずつ人口が減っている現実があります。数年後には、高齢者が2人に1人となる時代となることは明らかです。

このような状況を回避する、もしくは遅らせる対策を行政と地域住民が 緒に考え、知恵を出し合い、どのようなことが出来るのか議論を深め、具体策を打ち出していかなければなりません。

答申の冒頭でも述べたとおり、地域住民が抱える不安を少しでも取り除き、多様なソフト事業を積極的に取り入れ、安心感のある生活環境を整備し、地域と行政が体となり、数多く抱えている課題の解決策を見出していく必要があると考えます。

1. 高齢者が健康でいきいきとした生活を送ることが、認知症を含む要介護者の増加抑制に繋がることから、地域の自主活動事業と行政の結びつきを強化し、高齢者のみならず、地域住民の健康増進を積極的に図ることを求めます。
また、福祉事業の推進においては、福祉の専門職（介護福祉士やヘルパー等）の需要が今まで以上に高まることから、人員の確保に対し、専門学校等への働き掛けも含め、協力を求めます。
2. 人口減少対策については、若年人口の増加及び流出に歯止めを掛けることが必要ですが、そのためには、留辺蘂自治区の魅力発信を積極的に行うとともに、「はたらく場所」の確保が重要です。大変難しい課題であると認識しておりますが、行政として出来る限りの検討、そして具体的な施策に期待します。
3. 人口減少等の課題解決には、子育てしやすい環境整備が不可欠です。
市長公約でもある、認定子ども園等の環境充実と運営支援や、きめ細やかな子育て環境のサポートを強く求めます。
4. 少子高齢化に伴い小中学校の生徒数が減少していることから、今後の学校運営体制並びに、教育行政の組織強化を求めるとともに、時代にあった教育行政を推進していくことを期待します。
5. 公共施設マネジメント基本計画に基づき、公共施設の複合化、多機能化を念頭に、地域における最適な再配置の検討を求めます。
6. 地域交通体系の見直しは、大変重要な検討課題です。
利用者の減少や、このことに伴う財政的な問題など、地域交通を取り巻く状況は大変厳しいものがありますが、地域住民、特に高齢者の方々の移動手段として、維持していかなければならないものであります。しかしながら、永続的に維持していくには、根本的な地域交通体系の見直しが必要であると認識しております。
今後においては、公共交通であるJR、路線バス事業者、ハイヤー事業者を含め、留辺蘂自治区における新たな地域交通体系の確立に期待します。

7. 留辺蘂自治区においては、空き家等が増加していることから、有効的な活用方法について協議していただくとともに、場合によっては、老朽化による倒壊等、安全面に配慮していただくような施策が必要ではないかと思えます。

また、留辺蘂自治区内に勤めている方の多くが、北見自治区からの通勤者が多くを占めています。このことから、移住・定住施策にも関わることですが、留辺蘂自治区に居住する魅力をつくる必要があり、そのためには、空き家等の情報を行政として発信していくことも必要ではないかと思えます。

このことと合わせて、空き家等のリフォーム助成や家賃の 部助成など、手法のつとして検討いただくことを期待します。

8. 地域の活性化には 次産業の発展が欠かせません。特に基幹産業である農業の振興策については、後継者対策や、すでに地域の努力により特産品となった「白花豆」を使った様々な付加価値産品をさらに積極的に情報発信していくとともに、新たな特産品、付加価値産品を創出していく必要があると思えます。

9. 「まちづくり」を議論する上で、地域住民はもとより、関係機関・団体と行政との対話（意見交換）の場が少ないと感じます。

地域の意見を吸い上げ、行政運営に反映していくことは、「まちづくり」の基本であると思えますので、行政として積極的な対話の機会をつくっていただくことを期待します。

留辺蘂まちづくり協議会は、地域住民、特に若い世代が住み続けたいと思える「ふるさと」留辺蘂町をいかにして構築するか。このことは各地域共通の課題であり、そしてこのことを議論し、具体策を打ち出していくことが、留辺蘂自治区のみならず、北見市全体の発展に繋がるものと考えます。

これまで協議してきた内容はすべて個人あるいは地域の団体の代表である協議会委員からの貴重な意見や提案です。

市長におかれましては、第10次実施計画事業等における留辺蘂自治区に関連する事業を実施するにあたって、本答申の主旨を十分に尊重されますよう強く要望します。

留辺薬まちづくり協議会における協議経過

協議回数	開催日	場 所	内 容
1	7月20日(木) 午後9時30分	視察研修バス内 (東川町)	諮問 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
2	8月18日(金) 午後6時00分	留辺薬町公民館	議題 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
3	8月31日(木) 午後6時00分	留辺薬町公民館	議題 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
4	9月21日(木) 午後6時00分	留辺薬町公民館	議題 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
5	9月28日(水) 午後6時00分	留辺薬町公民館	議題 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について

留辺薬自治区要望事業一覧

1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

(1) 防災の強化

1	イトムカ橋護岸改修事業	護岸設計(左岸50m、右岸50m)及び保安林解除申請書作成委託
2	河川改修事業	護岸改修工事(2号川 L=95m)、調査設計(ハナワビバウシ川 L=300m)
3	LED灯切替事業	街灯更新11基(温泉通り～水銀250W相当+ナトリウム180W相当)
4	留辺薬自治区河川土砂上げ事業	堆積土除去工事、支障木伐採(ハナワビバウシ川)
5	道路維持作業用自動車更新事業	車両更新
6	大和排水整備事業	用地確定測量(L=374m)、用地買収(A=1,100m ²)、流末部設計 一式

(4) 地球環境保全と循環型社会の構築

7	広域連携PFI最終処分場運営事業	期間延長後の維持管理運営事業の開始(H31～)
8	広域連携PFI最終処分場期間延長事業	継続して単年契約中の「PFIアドバイザー業務」に、運営期間延長に関する協議支援業務を追加。
9	花園堆肥センター送風機上屋根改修	送風機上屋根の改修

(5) 快適な生活空間の整備

10	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	(都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業：社会資本整備総合交付金・基幹事業) (中央公園：施設更新一式、旭公園：遊具調査)
11	公園安全対策事業	遊具更新 一式(旭南団地児童公園 滑り台、ブランコ、シーソー)
12	管理樹木安全対策事業	剪定及び伐採(おんねゆ温泉つつじ公園 シラカバ・カラマツ 20本)

2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

(2) 生涯学習の充実

13	留辺薬町公民館耐震診断・現況調査事業	耐震診断・現況調査実施
14	移動図書館車更新事業	移動図書館車更新事業
15	留辺薬町公民館自動扉部品取替修繕事業	自動扉駆動装置の取り替え
16	留辺薬町公民館講堂スピーカー更新事業	講堂の音響スピーカー2基を更新
17	留辺薬町公民館和 畳修繕事業	第2研修 畳表替(24.5枚) 第3研修 畳表替(30枚)
18	男子トイレ整備事業	小便器センサー交換3台分および小便器1台交換 換気扇取替
19	周辺外構整備事業	図書館玄関前インターロッキング布設工事
20	玄関ポーチ水漏れ修繕	玄関ポーチ水漏れ修繕
21	車庫給湯器取替修繕	給湯器取替修繕
22	自動ドア装置交換事業	自動ドア装置工事

(4)小中学校教育の充実

23	瑞穂小中学校遊具等撤去工事 事業	グラウンド内に在する、遊具、物置、バックネット等を撤去する。
24	瑞穂小中学校教員住宅解体 整備事業	教員住宅解体(留辺薬自治区瑞穂小中学校8棟9戸)
25	瑞穂小中学校校舎体育館解体 整備事業	校舎棟1569.0㎡、体育館622.9㎡の解体
26	留辺薬小学校改築事業	校舎・屋体・プール解体工事 外構・グラウンド工事
27	給食センター改築事業	旧給食センター解体工事
28	給食センター改築に伴う不用備品 廃棄事業	現有備品の移転・廃棄

(10)生涯スポーツの振興

29	留辺薬町体育館耐震診断・現況 調査事業	耐震診断・現況調査
30	旭公園多目的グラウンド整備事業	旭公園多目的グラウンド整備実施設計(地盤調査含む)
31	留辺薬町体育館熱源整備事業	体育館熱源更新工事(重油地下タンク内面ライニング工事含む) 煙突アスベスト除去
32	留辺薬町体育館トイレ整備事業	身障者用トイレの改修及び男女トイレの洋式化(男子トイレ個 3カ所→2カ所、女子トイレ個 7カ所→5カ所)
33	八方台森林公園整備事業	「休養施設ぱるむ」屋根塗装、外壁塗装、コーキング、窓修繕
34	八方台森林公園芝刈り機更新事業	八方台森林公園芝刈り機更新
35	八方台森林公園木製遊具撤去 事業	木製大型遊具の撤去
36	八方台スキー場ロジックトイレ整備 事業	男女トイレの個 を広げ、洋式化する。 (男子トイレ個 3カ所→2カ所、女子トイレ個 6カ所→5カ所)
37	八方台森林公園休養施設ぱるむ 布団更新事業	布団一式更新 35組

(11)文化財の保護・継承

38	留辺薬町開拓資料館整備事業	基本・実施設計(H31～)
39	エゾムラサキツツジ群落防火用 備品更新事業	防火用備品(ジェットシューター)2基の更新

3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

(2)地域福祉活動の促進

40	北見市はあとふるプラザ改修事業	外構改修工事、放送ワイヤレス設備更新
----	-----------------	--------------------

(5)高齢者福祉の充実

41	養護老人ホーム静楽園施設整備	電話交換機更新、中央監視装置更新、給湯熱交換機交換工事
----	----------------	-----------------------------

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

(2)地域特性を活かした農業の振興

42	農業振興施設整備事業 (花公園根々の丘花壇整備)	花壇の花苗植栽
43	花園牧場捕獲施設整備事業	捕獲施設(連動スタンション) 設計委託費
44	明渠排水路維持補修事業	沈砂池整備及び土砂上げL=100m
45	畑地かんがい推進事業 (技術普及支援)	技術普及支援面積:614.6ha
46	農地整備事業 (畑地帯担い手育成型)	排水施設調査設計 営農用水調査設計
47	農業振興施設整備事業 (花えーる整備)	「おんねゆ温泉農業交流センター花えーる」外壁木部・屋根塗装工事
48	農村公園花園まきばの里改修事業	ウッドデッキ撤収工事 ウッドデッキ改修工事
49	花園牧場看視舎改修工事	看視舎塗装工事

(7)新たな観光資源の活用

50	道の駅おんねゆ温泉整備事業	果夢林の館暖房用真空式温水機交換工事 道の駅おんねゆ温泉敷地内景観整備事業 花菖蒲畑整備事業
51	山の水族館集客対策事業	いただきますフェスタ開催事業費
52	滝の湯温泉利用野菜ハウス解体除去事業	滝の湯温泉利用野菜ハウス解体除去工事
53	石北峠園地周辺補修事業	石北峠展望台への遊歩道補修(砂利入れ、階段丸太交換) 石北峠展望台景観整備
54	山の水族館整備事業	山の水族館養生施設水槽補修工事
55	滝の湯源泉成分分析業務	滝の湯源泉成分分析
56	石北峠公衆トイレ電気確保事業	石北峠公衆トイレ発電機設置工事

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(2)道路網の整備

57	留辺蘂町あさひ保育所2号通り外2路線道路整備事業	調査設計 L=400m W=7.27m
58	留辺蘂町留辺蘂訓子府線道路整備事業	調査設計 L=30m*2箇所
59	留辺蘂町旭西1号通り外2路線整備事業	調査設計(H31～) L=370m W=8.0m
60	留辺蘂町旭西4号通り道路整備事業	調査設計(H31～) L=181m W=7.27m
61	オーバーレイ舗装整備事業	オーバーレイ(1路線)紅葉山線
62	留辺蘂町国体通り道路整備事業	歩道改築(舗装部のみ) L=270m W=3.5m
63	市道二次改築事業	調査設計(上町学園通り L=550m W=8.48m) 改良舗装工事(役場西通り L=190m W=7.27m)
64	留辺蘂町留小東通り道路整備事業	改良舗装工事 L=140m W=11.00m
65	留辺蘂自治区路面排水整備事業	調査設計、排水施設整備(雨水樹及び縦断管)～旭3区(旧会館前)L=55m

(4)良好な住宅・住環境の創出

66	市営住宅建替事業(公園団地)	団地の基本(76戸)・実施(16戸)設計(H31～) 公園団地4号棟(1棟4戸)の解体(H31～)
67	市営住宅改善事業	浴ユニットバス化・3点給湯設備への改善を行う(上町団地5・6号棟) 灯油の集中配管設備の改善を行う(上町団地5・6号棟) 内窓プラスチック化(上町団地5・6号棟) 高齢化対応手すり(上町団地5・6号棟) 屋根・外壁等の改善を行う(宮下団地)
68	市営住宅建替事業(東町地区)	団地の3・4号棟(2棟8戸)の建設 団地の5・6号棟(2棟8戸)の実施設計 既存入居者の移転
69	普通財産解体事業	普通財産(共済倉庫)解体撤去 構造:フ・亜・2建/建築年月日:S37. 10. 10/面積:234. 34㎡

6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

(2)行政サービスの向上

70	留辺蘂総合支所庁舎改修事業	耐震診断、現況調査 庁舎ボイラー設備の更新 庁舎玄関自動ドア～正面外東側自動ドア(1枚片開き)の更新
71	留辺蘂総合支所外灯改修事業	総合支所敷地内外灯5基のLED化。

(5)住民自治の推進

72	住民センター整備事業(瑞穂改善センター整備)	実施設計の実施
73	(仮称)旭コミュニティセンター整備事業	基本・実施設計、地盤調査、現地測量、用地購入、支障木撤去、水道移設設計、事務費
74	住民センター改修事業	西区住民センター改修工事(屋根補修・塗装、外壁補修・塗装) 西区住民センタートイレ改修工事 (男子:和式1基・洋式1基、女子:和式1基、洋式2基 多目的:1基)
75	留辺蘂まちづくりパワー支援補助金	5人以上の団体が行う安全安心な地域づくり、地域の生活環境の改善、自然環境保全、地域の伝統・文化・スポーツの振興、子どもの健全育成、地域の特性を生かした産業振興、その他個性豊かな住みよい地域社会の構築などのまちづくり活動事業に対し、補助する。自治区毎に予算計上し、各まちづくり協議会が審査機関となる。

【留辺薬まちづくり協議会委員】

委嘱期間：平成28年6月14日～平成30年6月13日

区分	氏 名
委 員	荒 武 文
委 員	石 田 敏 明
○ 副会長	稲 村 幸 宏
委 員	大 江 友 広
委 員	菊 池 達 也
委 員	坂 口 信 一
委 員	高 野 智 子
委 員	武 田 志 津 子
委 員	立 垣 ちよ子
委 員	千 田 剛 貴
委 員	野 瀬 容 子
委 員	古 川 啓 子
委 員	山 梨 則 子
委 員	山 久 仁
◎ 会 長	横 田 正 純

※五十音順